

かわさき区の宝物シート

宝物No.	につたじんじゃ 新田神社		
8-3	中央地区 渡田・京町	シーズン 通年	日時
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物		



新田義貞公像（上）と亘新左衛門の墓

遷座された姥ヶ森弁財天

写真提供：稲毛神社/NPO法人かわさき歴史ガイド協会

所在地	川崎区渡田2-14-8
問い合わせ	稲毛神社社務所
TEL	044-222-4554
FAX	044-245-2003
E-mail	info@takemikatsuchi.net
URL	http://takemikatsuchi.net/ (稲毛神社)
交通	川崎駅よりバス「渡田中学入口」下車徒歩3分



基礎情報

■新田義貞を祀る神社。後に『新田四天王』と称された義貞の4人の重臣のうち1人であった亘（わたり）新左衛門は、義貞が越前国で討死すると「差添の名剣」「七ツ入子の名鏡」「錦の陣羽織」の3種の遺品を持ち帰り、供養して義貞を祀ったと伝えられている。境内には新田義貞公像、亘新左衛門の墓（五輪塔）がある。

由来・エピソード

■鎌倉倒幕を成し遂げた新田義貞には、篠塚伊賀守、粟生左衛門、畑六郎左衛門、亘新左衛門という4人の重臣がいた。渡田を領地として治めていた新左衛門は、新田義貞の鎌倉攻めの際にも渡田から加勢したと伝えられる。南北朝期に入り足利方と争いを続けた義貞が、建武5年(1338)越前国藤島（福井市）で討死したのち、新左衛門が義貞の遺品である「差添の名剣」「七ツ入子の名鏡」「錦の陣羽織」の3種の品を渡田に持ち帰って供養し、義貞を祀ったといわれている。

■戦災によって社殿など建物が焼失したが、昭和31年(1956)に社務所、38年に社殿、43年には神楽殿が再建された。

■平成3年(1991)に川崎区内に在住する新田四天王の末裔とされる旧家の方々が集まり、新田神社参集殿において『新田四天王と川崎』と銘打ったシンポジウムが開かれ、多くの市民の関心を集めた。以降、毎年8月第1土・日曜に行われる新田神社例大祭の式典に参列されている。例大祭では渡田各町内の神輿が集まり、宮御輿とともに町内渡御・巡幸が行われる。

補足・その他

■境内には鋼管通3丁目から遷座された姥ヶ森弁財天も祀られている。
 ■義貞の没後も活躍した義貞の次男・新田義興は、正平13年(1358)多摩川の矢口の渡しで足利方の手によって謀殺される。義興を新田大明神として祀る同名の新田神社が大田区矢口にある。伝承では、正月元旦と七月二日の晩には渡田の地に軍馬の嘶く声が聞こえるとされ、矢口に眠る義興が父・義貞の霊前へと参るためであると言われていた。

関連シート

(1-14) 稲毛神社
 (1-16) 川崎山王祭
 (8-4) 成就院
 (8-2) 畑家墓所と頼政塚
 (22-1) 姥ヶ森弁財天と井戸